



500 SERIES PARAMETRIC EQUALISER 512

500 Series 4 Band Fully Parametric Equaliser Based on
Midas HERITAGE 3000

JP 安全指示

1. これらの指示をお読みください。
2. これらの指示を守ってください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この装置を水の近くで使用しないでください。
6. 乾いた布でのみ拭いてください。
7. 換気口をふさがしないでください。製造元の指示に従ってインストールしてください。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、または熱を発生するその他の装置（アンプを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
9. 製造元が指定したアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。



- 10.** 製造元が指定した、または装置と一緒に販売され

たカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルでのみ使用してください。カートを使用する場合は、カートと装置の組み合わせを移動するときに、転倒による怪我を防ぐように注意してください。



- 11.** この製品の正しい廃棄：この記号は、WEEE指令 (2012/19 / EU) および

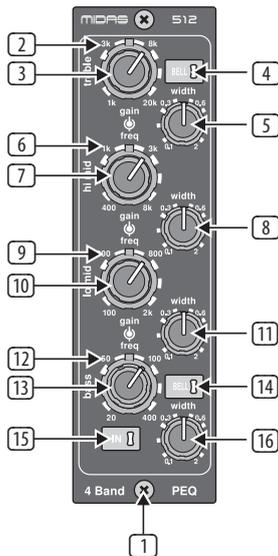
国内法に従って、この製品を家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。この製品は、廃電気電子機器 (EEE) のリサイクルを許可された収集センターに持ち込む必要があります。この種の廃棄物の取り扱いを誤ると、一般に EEE に関連する潜在的に危険な物質が原因で、環境と人間の健康に悪影響を与える可能性があります。同時に、この製品の正しい廃棄にご協力いただくことで、天然資源の効率的な利用に貢献します。廃棄物をリサイクルする場所の詳細については、最寄りの市役所または家庭ごみ収集サービスにお問い合わせください。

- 12.** 本棚などの狭い場所には設置しないでください。

- 13.** 火のともったるうそくなどの裸火源を装置の上に置かないでください。

500 SERIES PARAMETRIC EQUALISER 512 コントロール

JP



- ① **Mounting holes** - 512 モジュールは、Midas Legend L6 や L10 などのホスト 500 シリーズラックシャーシまたはボックスに取り付けられ、上下の 2 本のネジを使用して固定されます。
- ② **Treble frequency control** - このコントロール (外側のノブ) は、1 kHz から 20 kHz までの周波数範囲の連続調整を提供します。
- ③ **Treble gain control** - このコントロール (内側のノブ) は、0 dB のセンターテントでトレブルカットとブーストを -15 dB から +15 dB に連続的に調整します。
- ④ **BELL switch** - これを選択すると、トレブルイコライザーカーブが従来の Midas シェルフ応答から完全なパラメトリック操作に変わります。スイッチの緑色の LED が点灯して、BELL モードがアクティブであることを示します。
- ⑤ **Treble width control** - このノブを使用すると、0.1~2 オクターブの帯域幅を継続的に制御できます。BELL スイッチを選択した場合のみ動作します。
- ⑥ **Hi mid frequency control** - このコントロール (外側のノブ) は、400 Hz から 8 kHz までの周波数範囲の連続調整を提供します。
- ⑦ **Hi mid gain control** - このコントロール (内側のノブ) は、0 dB の中央戻り止めで -15 dB から +15 dB までカットとブーストを連続的に調整します。
- ⑧ **Hi mid width control** - このノブを使用すると、0.1~2 オクターブの帯域幅を継続的に制御できます。
- ⑨ **Lo mid frequency control** - このコントロール (外側のノブ) は、100 Hz から 2 kHz までの周波数範囲の連続調整を提供します。
- ⑩ **Lo mid gain control** - このコントロール (内側のノブ) は、0 dB の中央戻り止めで -15 dB から +15 dB までカットとブーストを連続的に調整します。
- ⑪ **Lo mid width control** - このノブを使用すると、0.1~2 オクターブの帯域幅を継続的に制御できます。
- ⑫ **Bass frequency control** - このコントロール (外側のノブ) は、20 Hz から 400 Hz までの周波数範囲の連続調整を提供します。
- ⑬ **Bass gain control** - このコントロール (内側のノブ) は、0 dB の中央戻り止めで -15 dB から +15 dB までカットとブーストを連続的に調整します。
- ⑭ **BELL switch** - これを選択すると、ベースイコライザーカーブが従来の Midas シェルフレスポンスから完全なパラメトリック操作に変わります。スイッチの赤い LED が点灯して、BELL モードがアクティブであることを示します。
- ⑮ **Equaliser IN switch** - このスイッチは、イコライザーを信号パスに挿入します。スイッチの黄色の LED が点灯して、イコライザーがアクティブであることを示します。IN スイッチの選択を解除すると、すべての回路が完全にバイパスされます (真のリレアードウェアバイパス)。信号がラック入力 XLR からラック出力 XLR に直接渡されるため、500 シリーズラックの電源がオフの場合にも真のバイパスモードが発生します。
- ⑯ **Bass width control** - このノブを使用すると、0.1~2 オクターブの帯域幅を継続的に制御できます。BELL スイッチを選択した場合のみ動作します。

500 SERIES PARAMETRIC EQUALISER 512 はじめに

1 512 EQ モジュールは、Midas Legend L6 や L10 などの 500 シリーズラックシャーシまたはボックスに取り付けるように設計されています。L6/L10 は、512 モジュールへの入力接続と出力接続、およびモジュールを実行するための内部電源を供給します。

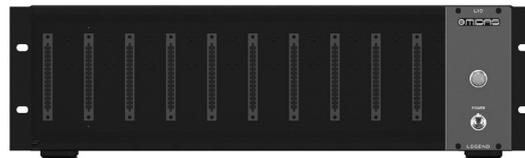
2 L6/L10 の電源をオフにした状態で、512 モジュールを慎重にスライドさせて取り付け、背面コネクタが L6/L10 の対応するマルチピンコネクタに正しく収まるようにします。2本のネジを使用して 512 モジュールをフロントの上部レールと下部レールに固定します。

3 L6 または L10 の空白スペースは、Midas L1B ブランクプレートを使用して埋めることができます。これらのプレートは、汚れ、ほこり、その他の物体がユニットに入るのを防ぎます。

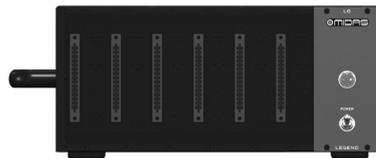
4 システムに他のモジュールを挿入します。

5 オーディオ機器を L6/L10 の入力と出力に接続します。

6 L6/L10 の電源を入れます。512 モジュールには、内部電源オン/オフミュートリレーが装備されています。電源投入後、電源投入時の衝撃を避けるために、出力が接続されるまでに 2 秒の遅延があります。リレーはまた、パワーダウン中に出力をミュートすることにより、パワーオフの衝撃を防ぎます。



Legend L10500 シリーズラックマウントシャーシ (10 モジュール用)



Legend L6 500 シリーズ 6 モジュール用ラックマウントシャーシ (付属のラックイヤーキットは表示されていません)

技術仕様

JP

コントロール

| | |
|----------|---------------------------------------|
| 高音 | デュアル周波数/ゲインノブ、シェルフ/ベルスイッチ、幅ノブ (ベルモード) |
| こんにちはミッド | デュアル周波数/ゲインノブ、幅ノブ |
| ローミッド | デュアル周波数/ゲインノブ、幅ノブ |
| ベース | デュアル周波数/ゲインノブ、シェルフ/ベルスイッチ、幅ノブ (ベルモード) |
| EQ イン | イン/アウトスイッチ |

入出力

| | |
|----|---------------------|
| 入力 | モノラル、バランスライン |
| 出力 | モノラル、電子的にバランスが取れている |

システム

| | |
|-----------------------------|---|
| ユニティゲインでのノイズ | -97 dBu (22 Hz-22 kHz) |
| CMRR、ユニティゲイン、1 kHz | -70 dB (標準) |
| 入力インピーダンス、1 kHz | 20 k Ω |
| 周波数応答、ユニティゲイン (EQ はフラットに設定) | 20 Hz~20 kHz, +/- 1 dB |
| 歪み、ユニティゲイン、1 kHz | |
| 0 dBu | <0.005% |
| +10 dBu | <0.005% |
| +20 dBu | <0.01% |
| 最大入力レベル、1 kHz | +21 dBu |
| 最大出力レベル、1 kHz | +21 dBu |
| 出力インピーダンス、1 kHz | 50 Ω |
| EQ | |
| 高音域 (シェルフモード) | 1 kHz~20 kHz, +/- 15 dB カット/ブースト、スロープ=1 オクターブあたり 4 dB |
| 高音 (ベルモード) | 1 kHz~20 kHz, +/- 15 dB カット/ブースト、帯域幅 0.1~2 オクターブ |

| | |
|-----------------|---|
| こんにちはミッド (ベルのみ) | 400 Hz~8 kHz, +/- 15 dB カット/ブースト、帯域幅 0.1~2 オクターブ |
| Lo mid (ベルのみ) | 100 Hz~2 kHz, +/- 15 dB カット/ブースト、帯域幅 0.1~2 オクターブ |
| 低音 (ベルモード) | 20 Hz~400 Hz, +/- 15 dB カット/ブースト、帯域幅 0.1~2 オクターブ |
| 低音 (シェルフモード) | 20 Hz~400 Hz, +/- 15 dB カット/ブースト、スロープ=1 オクターブあたり 4 dB |

電力要件

| | |
|------|------------------|
| 電圧 | + 16 V および -16 V |
| 消費電力 | 100 mA, 3.2 W |

物理的

| | |
|----------------|---|
| 寸法 (H x W x D) | 132 x 38 x 184 mm (5.2 x 1.5 x 7.2") |
| 重量 | 0.7 kg (1.5 lbs) |

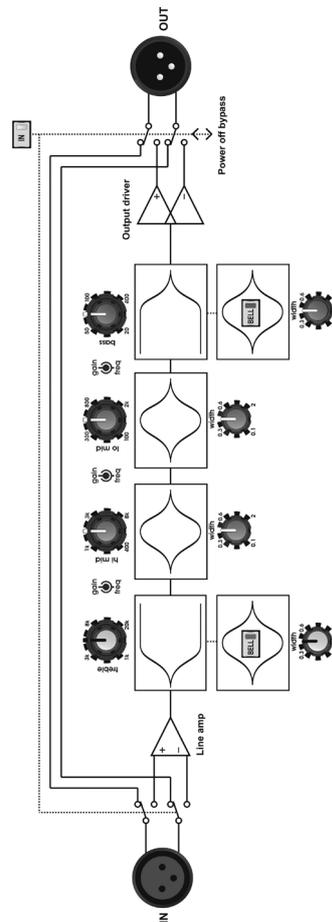
Module Connector Pin-Outs

| Pin Number | Description |
|------------|-----------------|
| 1 | Chassis GND |
| 2 | Output + (hot) |
| 3 | N/A |
| 4 | Output - (cold) |
| 5 | Audio GND |
| 6 | N/A |
| 7 | N/A |
| 8 | Input - (cold) |
| 9 | N/A |
| 10 | Input + (hot) |
| 11 | N/A |
| 12 | PSU +16 V |
| 13 | PSU GND (0 V) |
| 14 | PSU -16 V |
| 15 | N/A |

Notes

L6 and L10 rackmount chassis XLR connections are wired
pin 1 = audio GND, pin 2 = + (hot), pin 3 = (cold)

Block Diagram



その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットのパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe デイラーがお客様のお近くにならないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができません。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

